

日本樂器製造株式會社

○爭議以來會社トシテハ一再ナラズ衷情ヲ披瀝シテ罷業員ノ反省ヲ求メタルガ今ニ至ルモ尙復歸セザル工手ハ六月三日附テ以テ退職者ト認メテ解僱シ當社職工名簿中ヨリ削除シテ此旨通知シタル人員八〇四名ナリ

○頃日來復歸工手漸増シ累計二百八十七名ヲ算スルニ至リシガ別ニ二日三日兩日ニ亘リ新規應募者三百五十名中ヨリ百五十八名ヲ選拔假採用シコレニ爭議不参加者七十八名ヲ加ヘ今ヤ現業工手五百二十三名、社員准社員百十八名總計六百四十一名ニ達シタリ而シテコレヲ部別ニ表示スレバ左記ノ如シ(表中括弧内ノ數字ハ新採用者ヲ示ス)

ベニア部	二四(一四)	作業部	九九(二〇)	オルガン部	四八(一一)
木材部	三〇(八)	飛行機部	一三(六)	ハーモニカ部	五七(二四)
木取部	一七(七)	鐵工部	五七(二三)	原料部	六(〇)
木工部	八七(三六)	ピアノ部	五三(八)	總務部	一七(〇)
アクシオン部	一五(〇)	計	五三三(一五八)		

○尙第一回應募者ノ配屬ヲ終リタル上ハ更ニ第二段ノ整備ニ着手セントス

○六月一日ヲ以テ爭議事務ニ關スル担当者ヲ減少シ本來ノ業務ニ主力ヲ振向クル事トセシガ爾來作業ノ秩序整ヒ能率日一日ト高マリツ、アリ即ピアノ部、アクシオン部、鐵工部ノ如キハ平素ト毫モ變化ナク作業部ニテハ第三部ノ人員ヲ悉ク第一部、第二部ニ集メピアノ、オルガンノ外廊、アクシオン木部、ハーモニカキー、笛差、鍵盤及本立ノ製作ニ没頭シ木工部及オルガン部ハ人員稍々不足ヲ告ゲツ、アレドモ平素ノ約半數丈ノ能力アリ、ハーモニカ部ハ主トシテ在庫品ノ發送ニ力ヲ用キ一日平均三百打位ヲ出シツ、アルガ尙在庫一萬三千打ヲ有スルヲ以テ當分出荷中斷ノ憂ナシ、木材部ハ帶鋸、箴鋸、丸鋸、共ニ動キツ、アリテ一日尺〇三十本平均ノ製板能力アリ唯飛行機部及ベニア部ハ不振ナルガ螺施機ノ如キハ幸ニ年度變リニシテ今年度分ハ來年三月末日迄ニ納入スルヲ例トスルヲ以テ九月上旬ヨリ製造ニ着手ノ方針ニテ計劃中ナリ、ベニアハ熟練工ヲ釧路分工場ヨリ招致シテ新ニ陳容ヲ調ヘントス、而シテ全般的ニ云ヘバ樂器ノ製作ニ主力ヲ集注シ且半製品及在庫品ノ整理ニ努メツ、アルヲ以テ今ヤ罷業ニ基ク直接ノ打撃ハ著ルシク減少シツ、アリ

○爭議中ニモ拘ハラズ五月中ノ出荷約二十萬圓ニ上リ本年前半期ノ本社賣上高百四十五萬三千余圓ヲ計上シ支店、分工場ノ成績ヲ合算スレバ三百六十萬圓以上トナル見込ナリ

○當會社ハ從來屢々聲明セシ如ク工場設備ノ完全ト従業員諸氏ノ待遇トヲ向上スルコトニ對シテハ誠意ヲ以テ努力シツ、アリ又今後一層其意義ヲ擴張シテ其福利増進ニ努メン事ヲ期待セシニ拘ハラズ先般測ラズモ爭議勃發セシ事ハ返ス返スモ遺憾トスル所ナリ爾來四十余日ヲ經過シ其間爭議團員ニ反省ヲ促ガシタル爲メ幸ニシテ復歸者約四百名(殘留者ヲ含ム)ニ達シタルモ尙殘部職工數百名ノ多キヲ慮リ殘部員一同ヘハ(解雇處分ヲナセシ九十余名ヲ除キ)一定熟考時間ヲ存シ復歸ヲ促シタルモ尙之ニ應ゼザル諸氏ヘハ自然退職者ト認メテ解雇シ當會社職工名簿削除ノ手續ヲ爲シ茲ニ一段落ヲ告ゲタルヲ以テ新規ニ職工募集ヲ行ヒ(自然退職者モ之ニ應ズルノ途ヲ開キ)事業經營ノ方法ヲ講ジタルヲ以テ豫テノ聲明ニ基キ左ノ如ク設備並ニ待遇ニ關スル改善ノ方法ヲ實行スルコト、シ六月七日午五時現在就業中ノ職工代表者宮本錫五郎外二十四名ヲ招集シ事由ヲ詳述シテ發表セシニ何レモ満足ノ意ヲ表シタリ

△工場設備並ニ職工待遇ニ關シ左ノ通り

施設實行セントス (大正十五年六月七日發表)

(一) 工場施設ニ關スル件

一、工場内空氣ノ清潔ヲ保持スル爲メ鋸屑塵埃等ノ排除裝置ヲ一層完全ニスル事